

# 100円ショップは本当に安いのか？

(社)札幌消費者協会 調査部

「こんなものまで」と驚くほど豊富な品数の100円ショップ。文具や台所用品、衣料品や食料品など日常生活のほとんどがそろそろほどです。特に文具や台所用品は色とりどりで品数が豊富です。

100円ショップで購入した商品が壊れてしまったら、「100円だから」といって簡単に処分していませんか。安易に余分なものまで買っていないですか。

はたして100円ショップは本当に安いといえるのでしょうか。品揃えの豊富な文具で安全性、耐久性、使い勝手等、一般の商品と比べてどんな差があるのか、チェックしてみました。

<購入店> 100円ショップD店・100円ショップK店・一般店

<購入品> 穴あけパンチ・ホッチキス・カッター・ホチキス針・ゼムクリップ (シルバー・カラー)  
各店舗1点ずつ購入 計18商品

なお、一般店からは100円ショップ商品と金額、形状等がもっとも近いものを選択した。

<調査期間>平成20年1月から平成20年2月

## ◆ 表示および製造国について

購入品の中でJISマークがついていたのは一般店で購入したホチキス針のみでした。全ての商品について製造販売会社名、製造国および注意事項が記載されていましたが、100円ショップD社の商品についてはすべてD社名と住所の記載されていました。お客様相談ダイヤルなど電話連絡先のあった商品は一般店購入品と100円ショップK店で購入したカッターとゼムクリップでした。

製造国については、一般品は、台湾産の穴あけパンチ1点を除いて国産でしたが、100円ショップ商品では、国産品はゼムクリップ1点のみで中国産が9点ほかインド1点、韓国1点でした。

なお、100円ショップD店の場合、レシートに購入後2週間以内の場合はレシート持参すれば返品交換可と記載がありました。

## ◆ 購入品（消耗品を除く）一覧



①100円ショップD店 ②100円ショップK店 ③一般店

## ◆ 調査部員による使用テストについて

使用テストはJIS規格があるホッチキス、ホッチキス針や穴あけパンチについては、その基準に準じた方法で使用テストを行いました。主に、一般の消費者として、実際に商品を家庭で使用する際の使い勝手を重視しました。各商品の使用テストとその結果は以下の表のとおりです。

商品	調査部モニター使用テスト結果
ホッチキス 一般品の価格 420円	20枚を重ねたコピー用紙の綴じこみテストでは、3商品ともに綴じこむことができたが、K社商品でK社ホッチキス針を使った場合、綴じ込みに力が必要で、9名中3名のモニターは針が最後の紙まで綴じこむことができなかった。 100円ショップK社商品は針抜き用部品がプラスチック製で厚みがあるためにホッチキス針を外すことができない作りであった。
穴あけパンチ 一般品の価格 367円	3点とも穴の位置はJIS規格で定められた位置にあき、数枚の紙であれば、3点とも同様にきれいに穴が開いた。しかし、D社商品はフォルムが弓形のため、穴を開ける際にすべりやすく使いにくいとの評価につながった。さらに、D社商品のゴミだし口の留め具が3回の開閉で折れた。
カッター 一般品の価格 101円	一般品の価格が一番安く、さらに切れ味も良好だった。 100円ショップ商品は見た目ががっしりした作りで握りやすいが、普通紙を切るという目的からすると形状が大きすぎて、扱いづらいという声があった。替え刃のサイズは100円ショップ商品と一般品ともに長さ850mm幅9mmで、互換性があった。しかし、100円ショップK店の商品は刃を替える際、本体部品が外れにくく、男性でも部品を外すことが困難であった。
ホチキス針 一般品の価格 67円	100円ショップの商品がひと箱(1000本)あたりに換算で一般品の約3分に1の価格だった。使用に当たっては、コピー用紙20枚を綴じ込む際にやや力を要するとのモニターの評価があったものの大きな差異はなかった。
ゼムクリップ 一般品の価格 99円	100円ショップ商品はクリップの巻きがあまく弾力性が弱い、コピー用紙10枚をとめる力に一般品との差異はなかった。価格はK社のものが、300本入りで105円と一番安く、一般品は100本で99円、D社品は120本で105円とほぼ同じ値段であった。

#### ◆ まとめ

今回調査部が使用テストを行ったのは100円ショップ商品の中の一般家庭でも必需品とされる事務用品のごく一部の商品でしたが、一般品との比較の結果、使い勝手の点で差が見られました。

特にホッチキスや穴あけパンチ、カッターでは外観上の差異はなく、むしろ、100円ショップ商品のほうががっしりしたつくりのようにみえましたが、留め具がすぐに壊れる、部品が外れないなど粗雑なものがありました。また、実際に使い比べてみると、握りやすさなどの点で一般品が使いやすく、優位性を実感できました。

一方、ホチキス針では20枚の綴じ込みでは差異がありましたが5～6枚の綴じ込みでは差異がありませんでした。ゼムクリップも同様で、ホッチキス針やゼムクリップなど消耗品などは家庭で普通に使用する上では、安価な100円ショップ商品で問題がないと思われます。

100円ショップD社の場合、商品に電話連絡先がないが、レシート持参で2週間以内であれば返品交換可とレシートに記載があった。しかし、購入後2週間を経過した後商品に不具合や製品による事故の連絡先として、電話番号の記載が求められます。

価格だけに目を向ければ、100円ショップ商品は確かに安いといえます。しかし、買ってみたら使い勝手が悪かったり、量が多すぎたり。そして惜しげもなく処分してはゴミを増やすばかりではないでしょうか。100円だからといって安易に購入することを避け用途に合わせて賢く100円ショップを利用しましょう。